

研究タイトル	駆け込み乗車の数学的考察
要旨	<p>駆け込み乗車は電車などの交通機関において怪我のリスクや運航の遅延を招く迷惑かつ危険な行為である。しかし、実際には駆け込み乗車が日常に浸透してしまっている（国土交通省鉄道局、2010）。この現状に鑑み、山内ら（2008）や元田ら（2021）により、さまざまな視点からの原因説明が進められているが、未だ駆け込み乗車を数学に落とし込み、考察する研究はなされていない。そこで本研究は駆け込み乗車を理論的に分析し、駆け込み乗車によって生じる利益及びリスクを、数学的モデルの中でも式を用いて評価することを目指している。結果として現段階のモデルから、到着頻度が多い都市部の電車において、駆け込み乗車は非合理的であることが示された。今後の展望として、モデルにおいて一部分で生じている矛盾の解明とモデル修正を行い、より正確なモデルの作成を目指す。</p>